

休 日 曜 大 祭 日
一 日 廿 五 日
二 日 廿 六 日
三 日 廿 七 日
四 日 廿 八 日
五 日 廿 九 日
六 日 三 十 日
七 日 三 十 一 日
八 日 三 十 二 日
九 日 三 十 三 日
十 日 三 十 四 日
十 一 日 三 十 五 日
十 二 日 三 十 六 日
十 三 日 三 十 七 日
十 四 日 三 十 八 日
十 五 日 三 十 九 日
十 六 日 四 十 日
十 七 日 四 十 一 日
十 八 日 四 十 二 日
十 九 日 四 十 三 日
二十日 四 十 四 日
二十一日 四 十 五 日
二十二日 四 十 六 日
二十三日 四 十 七 日
二十四日 四 十 八 日
二十五日 四 十 九 日
二十六日 五 十 日
二十七日 五 十 一 日
二十八日 五 十 二 日
二十九日 五 十 三 日
三十日 五 十 四 日

平町の新豫算編成に 水道部の運算が難礁

町費繰入に増額を望まれ 不如意の財政で應じ得ず

平町の新豫算町會は昨報の如く来る廿五、六日頃の模様で通常豫算の編成は大體完了したらしいが前年度に比して二萬餘圓を減するものゝ如く

腹算を 立てゝゐる

ものゝ特別會計水道部の成算がつかない爲めに町費繰入の關係で前記豫算の完成を告げ得ないでゐる所して町水道部の運算は水道擴張部との關係に

原因し 國庫補助を

他の豫算狂ひによつて町費繰入額従來の九千圓に増額を望まんとされてゐるが出來得るだけ切詰めた不利益な町財政から應じ得るかどうかは頗る

疑問で あり此場合

一と難礁と見られてゐる町當局の肚裡は勿論疑ひ知る所でないけれども町民現下の經濟苦に對して人件費の節約が結局同方面にも向ふことになるであらうと

神谷村長の 貧民救済

十餘名に餅米

石城郡神谷村長佐藤入三郎氏は村内に於ける貧困者に同情し去十日私財を以て舊年末の餅米代を十餘名に贈つた

自動車ポンプ 購入計畫

湯本町にて

石城郡湯本町消防組では未だ自動車ポンプの用意がないので此の購入を計劃して、資金融助のため本年度の夜警費(一人當四十圓)を全員收得せず購入費の一端に充てることになつた

第一から九十名 高女志望

不景氣でも前

年より稍増加
平第二小學校に於ける本年の卒業生は尋常科百五

家庭團満の 秘訣十訓

舊正月を利用 し村内に配付

石城郡永戸、箕輪組合村では役場吏員及び主婦聯合會と協力し舊正月を利用して家庭團満の秘訣十訓を印刷し村内各戸に配付すると

求職少年の 質が悪い

平職業紹介所

平職業紹介所は小學校の卒業生を空けて少年の就職に努めてゐるが不景氣の爲め求職者が割合少ない所へ求職者が激増して各小學校共に受持教員連にも持て餘される状態が就中多岐に上り内郷の高坂高等學校本年卒業生三百名の中百二十名に對する就職斡旋に就て

貧困救済

一円乃至一 圓五十錢宛

石城郡磐崎村では舊年末に於て村内貧困者を救済すべく村から金三十圓を支出したるに對し特志者から十八圓の寄附があるので去十一日當番者三十二名に一圓乃至一圓五十錢宛を給與した

磐女を巢立つ 百九十名

進學志望は 僅六十六名

縣立磐城高等學校に於ける本年年度の卒業生は總數磐女を巢立つ

一月中の 活動館収入

平署管内で 三六五三圓

平署管内に於ける活動常設館中町の有聲座及び平館並に湯本町三國座三館の去一月収入は總計三千六百五十三圓五錢三厘であるが、そのうち一番収入劣りであるが、それでも興行の奮時であるだけに六百八十三圓二十一錢を上げ平町に於ける活動館の千九百四十七圓四十錢有餘の出動なし得る程度の全快主要の病苦に對し軍隊から與

富岡土木の 陣容整ふ

新設された富岡土木監督所 は元双葉郡役所跡に漸く陣 容を整へたが所員は左記の 如くである

古河炭礦に 大プール

本夏までに 完成の見込

石城郡好間村の古河炭礦では従業員の爲め兼ねて計劃中の大プールを急上同礦購置所跡に設置することに決し本年夏までに完成の由であるが出來上れば盛大な始末式を舉行し可能限り一般の水泳練習にも使されるものである

軍床の妻に 濃やかな

夫婦の情

石城郡好間の北好間宇權現堂居住の瀬谷勉(三)は昨年一月若松歩兵二九聯隊に入營したが勉の勞働によつて營生活を立て、來た内縁の妻やすこは夫の軍務中賃什事によつて不在を守つてゐる去十一月頃から病床の身となり糊口にも困る昨今近所の同情で命を支へてゐる所の中同區の基本金として金五圓を寄附した

調查委員に 記念品

箕輪組合村で 昨五年の國勢調査委員に對 し記念品を贈ることになつ てゐるが去る八日午前十時 から箕輪村内藤直治方に於 て村長高萩正一氏から各瀬 戸火鉢一個を贈り慰勞會を 催した

旅行病者死亡

平町役場から運まれた路銀 で歸郷の途に去十日平驛プ リチで卒倒した山形縣西村 山郡寒河江町一八八生れ森 谷森藏(三)は町町離離舎に 救療されてゐたが十二日午 前五時遂に死亡したので町 役場の假埋葬に附する

葬儀費を節 約して寄附

石城郡好間の北好間宇權現 堂居住の瀬谷勉(三)は昨年 一月若松歩兵二九聯隊に入 營したが勉の勞働によつて 營生活を立て、來た内縁の妻 やすこは夫の軍務中賃什 事によつて不在を守つてゐ る去十一月頃から病床の身 となり糊口にも困る昨今近 所の同情で命を支へてゐる 所の中同區の基本金として 金五圓を寄附した

此紹介所では去八日から四百九十名で四星期を通ひ續けた校門に刺すところ一ヶ月前で別れを告げる是等學人員その他左記の如くであらうと

本館開座敷四三、入場者大人九二〇四、小人五七七二、有聲座開座敷四二、入場大人四二〇一、小人一七二四、三國座開座敷四二、入場大人三〇一八、小人一九三六

所長木岡廣義、副所長草野治三郎、書記神高橋一夫、事務助手未定、道路技手多用進、同上八木祐市、外一名

葉は肉厚く葉片に尖牙ありてごつ／＼とした木であります其木に二月餘寒の夜の月が光りを投げ掛ける其牙へた光りと木の葉の色とを合し、たげ／＼した尖端との合し、たげは何とも云へぬいかにつ／＼出掛けて来た感に、たげは何とも云へぬいかにつ／＼出掛けて来た感に、たげは何とも云へぬいかにつ／＼出掛けて来た感に、

箱根をこゆる月雪なほ降をつぶしたことであらう吾れも亦旅か旅にさすらひの身の春ともなればこゝろもや／＼のび／＼せんかと樂しむつ、此箱根路を越えて東の方へ赴かんとした時に思ひも知らぬ此雪に驚ならぬかならも共にさきもがつぶれたワイ

俳句
立春 (七)
満壽莊主人
移にさへかへりたる月夜
かな 文章 丈草

立春 (七)
満壽莊主人
移にさへかへりたる月夜
かな 文章 丈草

床業方

促成栽培(三)

床造と踏込み

この材料を四等分してその一分の落葉を先づ床穴の下方一面に敷き並べこれに大形バケツで六杯位水を一樣にかける萬能で掻き起しながらかき露で撒水すると最もよい、撒水後端から隙間なく充分に足で幾回も踏付けると其上に葉を列べる(全量の四分の一)即ち葉の小束一ツを孔底の短邊に添よて一端に置き、これを枕としてこの上へ葉の根の方を揃へて長邊に添よて一列に三寸位の厚さに並べる踏込みの葉は切らずに全長のまゝ、用ひ前に述べた列より約三寸位距て、同様根の方を揃へて三寸位の厚みに並べる、かくて同様のことを繰返しつてわらを並べ終つて後を見ると丁度わらの折重つた形が刺身を並べた様な具合になる、わらを敷き終つたらば大形のばけつで七乃至八杯位の水を一樣に撒布して足で踏みつけるのである、更に其上には糠の全量の四分の一量即ち約一貫五百匁乃至二貫匁位を一面に撒布するのである、以上の如き作業を四回繰返せば落葉とわらの層は合計八層となりその厚さは約二尺二、三寸となる、踏込みは最も技術と熟練を要するもので同一の材料を用ひ、同一の方法

で行つても其巧拙によつて熟の出具合が非常に異なるに材料の新しいものを用ひる事と鎮壓を充分に行ふことは最も大切な操作である

元詰 G.H.N 元詰
甘味葡萄酒
ゴルフボートワイン
¥ 1.10
郵購人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です
(二平)西村屋薬舗 (電川)


街客様意の良品廉賣

冬物入荷 澤山

伊平 伊関呉服店

プラトン 万年筆
プラトニンキ
特約店
山野邊薬局
平町五丁目

磐城代表 銘酒



美味経済 油醬ルマヤ

山崎合名会社
番十話電

噂の種

歳末景品付特賣
舊廿日より晦日

モリタマ洋品店
5丁目電353

和洋金銀 高屋

高屋金銀店

平町五丁目

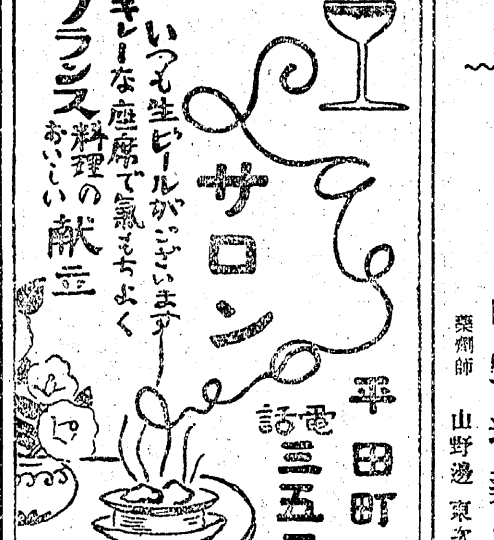
よる子こさいますか
うチりますよ



中島寫眞館
平町字田町

いつでも生ビールが楽しめます
キレイな座席で気分よく
フランス料理の献立

サロンの 平田町
電話三五二



痔 療 散

子に悩める方へ
最近の発見薬を勧む

世はあけて、スピード化し然かも究べき皮膚肉の存在餘りに過々たる痔疾の熱源、茲に本年度劇的進出せる痔療散其の卓効全速的快癒薬に神の如く將に備める者への福音、速に試みられよ其の事實を一度の實驗は百問より確證に證明されん
新進にして一躍痔療界の覇者
明治薬學專門學校教授
田中賢彦先生創製の「痔療散」

定價 三日分 九拾錢
一週分 貳圓八拾錢
二週分 參圓八拾錢

私達の恩師母校の教授田中先生は多年苦心せる研究痔療散の代理店を開始す切に御試験を乞ふ

平町五丁目角
平町代理店 山野邊薬局
藥劑師 山野邊東次郎

入應院需

藤沼醫院
番七〇五話電

平町

市原醫院
番四一一話電

平町

外科、小兒科
梅毒、淋病

平町、電話五二三番

高久病院
院長 醫學士 高久忠

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

入院應需


明雲堂眼科醫院
平驛前(電話六六九番)

◇自炊の便あり

召上りせま

安くて……
うまくて……
品がよい……

カフェー
タヒラ食堂



番〇二六話電